

会 議 録

会議の名称	第3回行田市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	平成27年8月21日（金） 開会：午後2時 閉会：午後3時30分
開催場所	行田市産業文化会館 第2会議室
出席者氏名	川島将史座長、尾澤照男委員、山崎孝子委員、島田ユミ子委員、戸塚昌利委員、小川雅以委員、吉田岳雄委員、小池利昌委員、櫛引浩士委員、宮本伸子委員、伊東政信委員、立花正人委員、篠田幸一委員、中島和幸委員、島田 徹委員
欠席者氏名	羽鳥英樹委員、野本祐子委員、山本栄治委員、小菅克祥委員
事務局	企画政策課：岩田企画政策課長、浅見政策推進幹、横倉主任 男女共同参画推進センター：岡田所長 子育て支援課：満井課長
会議内容	(1) 市民意識調査等の取組み状況について (2) 人口ビジョン及び総合戦略の骨子（案）について (3) その他
会議資料	○結婚・出産・定住などに関する意識調査結果速報【資料1】 ○学校卒業後の進路希望等に関するアンケート調査結果速報【資料2】 ○子育てサロン@行田市 結果速報【資料3】 ○（仮称）行田市まち・ひと・しごと人口ビジョン骨子（案）【資料4】 ○（仮称）行田市まち・ひと・しごと総合戦略骨子（案）【資料5】 ○「人口ビジョン」「総合戦略」の策定スケジュール（案）【資料6】
その他必要事項	傍聴者 4名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>司 会</p> <p>司 会</p> <p>川島座長</p> <p>事務局</p> <p>川島座長</p> <p>宮本委員</p>	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ（川島座長）</p> <p>3 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議事に移らせていただく。議事については、本会議の設置要綱に基づき、川島副市長に座長としての進行をお願いしたい。 ・ 初めに、会議の公開、非公開に関する取扱いについて申し上げる。本日の議事の中では個人情報を取扱う予定がないことから、公開とさせていただきます。また、会議録については、委員名を明記のうえ、市政情報コーナー及び市のホームページにおいて、後日公開する。 ・ 本日の議事は次第にある3点である。議事の（1）「市民意識調査等の取組み状況について」では、行田市版人口ビジョン及び総合戦略の策定に向けた取り組みとして実施した、各種調査の速報結果について報告する。議事の（2）「人口ビジョン及び総合戦略の骨子（案）について」では、現段階におけるそれぞれの骨子案について議題とする。以上2点を、まずは一括して事務局より説明する。 <p>（1）市民意識調査等の取組み状況について</p> <p>（2）人口ビジョン及び総合戦略の骨子（案）について （資料1～3により議事（1）を、資料4及び5により議事（2）について説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ただいまの報告と説明について、委員の皆さんからご意見はあるか。 ・ 基本は良いと思うが、資料5の総合戦略骨子（案）では、一番目の目標が「地域産業振興戦略」となっている。「魅力のある仕事があれば行田に住んでもよい」というアンケート結果も出ているが、地域に一から新しい産業を創っていくことは今の時代では難しい。これが達成できないとその後が進まない、ということのないよう、目標や施策の構成に注意する必要があると思う。 ・ ものづくり大学を企業に例えれば、働いている教職員100人少々の内訳としては、行田市民が約1割、鴻巣市や熊谷市などの周辺市の市民が合わせて約2割となっている。もう少し工夫をすれば、一つの企業が立地して、そのうち例えば半分程度の従業員が地元市に居住するということも可能ではないかとも思うが、多少距離があっ

<p>川島座長</p>	<p>たとしても、現代では自動車通勤が容易であり、よほどの大企業が立地しなければ、雇用の創出という面で効果は生じにくいのではないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これらを踏まえると、「多くの施策の中でどこから手をつけるか」について考える必要があると思う。全ての施策を進める必要はあるのだろうが、財政的な問題、人材的な問題もあるはずなので、重点施策を位置付けるほうがよい。 ・ そのような中では、行田市の場合は「安心してずっと住み続けられる」ということに重点を置いた基本目標の構成にした方がよいと考える。 ・ 資料5の基本目標1に「産業を振興し、安定した雇用を創る」とあげているが、今の時代は地域に新たな産業をつくることは難しいので、基本目標4あるいは3をメインに構成した方がよいのではという意見であった。このことについて、他の委員はどうか。
<p>小池委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ この骨子案に書いてある通りに行えば間違いなく良い街にはなると思う。宮本委員の意見にもあったが、優先順位をどこにつけるべきなのか。行田市は交通アクセスが悪く、高校が1校しかないなど、他市と比較して不利なことが多い。そういう問題ももちろんあるが、考えるべき問題の一つに、人が減るのはなぜなのかということがある。地理的条件から始まるのかもしれないが、なぜ人口が減少するのかという根本的なことを考えずに、個々の問題に取り組んでいるだけでは、いつになっても改善されないのではないかな。「現状こういう問題はあるがこう改善すれば良くなる」という、解決の具体案を出していければ、少しでも住みよいまちになるのではないかな。
<p>伊東委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私も、4つの基本目標の中の一番目である新たな産業を興すことは、難しいと思う。目標3にある子どもを産み育てることを魅力があることにしていけたなら、現在、行田にいる人のうち5人から10人に1人くらいは、1人多く子どもを生むかもしれないし、魅力が外へ伝わると、外から入ってくる人も増えるのではないかな。その時に、市として支出は増えるだろうが、子育てをサポートする施設をすべて無料化するなどの支援を行い、長期的に人口を増やし、税収を増やしていくという考えもあるのではないかな。

川島座長	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな産業の創出は難しい面もあるので、基本目標3にあるように、子育て環境の充実により安心して子どもを産み育てられるという、言わばイメージ戦略で行田市の活性化を図ってはどうかという考え方であったが、他の皆さんはいかがか。
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・過去10年間、市内の工業就業人口は減少している。裏付けがあるわけではないが、高校や大学を卒業した若い人にとって、魅力的な仕事がないという現状があると思われる。市内の工業団地の中である企業が撤退すると、後から入った会社が運送業であるケースが多く、それまで50人以上の従業者が雇用されていたところが10人以下になるなどといったケースも見受けられる。近隣市の工業団地よりも規模が小さくなっており、市の産業を引っ張っていく感じではない。 ・行田市の工業団地の問題点は、工業用水がないことである。この5年ほど、商工会議所連合会から県へ要望書も出してはいるが、県では草加市、川口市を除くと工業用水の提供をしていない。かなり前に遡るが、地盤沈下への影響で井戸を掘ることを規制する条例ができた。井戸を規制するのであれば、その時に、代替となる工業用水のサービスを提供すべきであった。市内の工業団地の用地でも、規制以前に掘った井戸がある用地は非常に引き手があり、取引価格も高い一方で、井戸のない用地は安い。新たに進出を考える企業も、工業用水がないことを理由に断念をしてしまうという実情がある。 ・行田市単独で工業用水を提供するわけにもいかないが、とにかく仕事場を増やしていくことが必要である。行田市近辺で学校を出た人に、行田市の企業に関心を持ってもらうことが大事である。
川島座長	<ul style="list-style-type: none"> ・工業用水の件については、県の協力も必要であろう。いずれにしても、住みやすさも大事であるが、働く場所、雇用は重要であるというご意見であった。
立花委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1のアンケートについて、回答者内訳を見ると、20～30代が235名、40代以上が511名であり、どちらかと言えば40代以上の方の意向が強く反映された結果だと思う。設問によっては年代の影響を受けないものもあろうが、この調査結果は非常に重要で、市民のニーズを抽出して解決策を考えると、自ずと解決へむけ

て進んでいくはずである。

- ・すでに出ている分析で重要なのは、20～30代の転出が多く、一方で転入がないということであり、20～30代が何を考えているかが分かる資料が見たい。資料2についても、回答者のうち県内在住者は高校生が一番多いと思うので、高校生の意向を見たい。
- ・共通して言えることは、地域の産業と、普段の生活に関することが課題として出ており、まず企業誘致のこと、出産・子育てのこと、住みやすさのことなどが上がっている。大体集約されてきていると思うので、整理していくとなると資料5の分類になると思う。
- ・具体的な企業誘致の話をすれば、製造業では大量の水を使用するため、工業団地で地下水が採れないことは大きな問題であるが、これを解決するためには相当なコストをかける必要がある。
- ・また、進出企業に倉庫業や運送業が多いという話があったが、倉庫業にも色々と種類があって、単純に物を置いて運ぶだけの倉庫業はあまり人を必要としないが、保管管理なども行う倉庫は、ちょっとした規模でも400から500人程度の雇用が生まれるケースもある。このような企業を誘致することも一つの手だと思う。
- ・最後に誘致について、これは一概には言えないが、誘致をして雇用が生まれても、そのほとんどが非正規職員であることも多く、正規職員の雇用を増やすことは難しいという現実がある。相当に名の通った企業が進出してこないといけないのかもしれない。そのような大企業が立地した場合、関連する企業が近くに立地することも大きい。いずれにしても、雇用の問題は長期的な課題として捉えていくべきである。

川島座長

- ・企業誘致については、これまで以上に産官学が一体となってやっていきたい。有用な情報があればいただきたい。

立花委員

- ・例えば、関西地方の会社に対して工場などの移転先についてアンケートをとってみると、埼玉県の立地についてのニーズは結構ある。理由としては、東京に近く、地盤も安定しており、土地の価格もほどほどであるということが理由のようである。

川島座長

- ・ぜひ企業を引っ張ってきていただきたい。

事務局

- ・資料1～3のアンケート調査結果は、今回は速報としてお示しした

<p>宮本委員</p>	<p>もので、年代別の集計については、次回の会議で報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、資料5の総合戦略骨子案では、4つの基本目標に計73の施策を位置付けている。総合戦略は5年間で進める計画であるが、優先順位の話は、今後当然出てくると思う。その議論については、今後ご意見をいただきたい。 ・補足として、総合戦略に位置付けた施策や事業は、1年間での効果を検証して次に活かしていくため、いわゆるPDCAサイクルを回すということが必要になってくるが、その評価においては、KPIという事業評価を行うための目標値を設定する必要がある。これは、複数の事業をまとめた形での設定も可能である。たとえば雇用創出数、観光入込客数などが考えられるが、こちらについても次回以降にお示ししていく。この目標値の達成状況や事業の効果検証も、この会議でやっていきたいと考えている。 ・地域の産業をないがしろにするということではないが、やはり大企業を誘致するというのは大変なことだと思う。企業誘致も大事であるが、今立地している企業が出て行かないようにすることも大事だと思う。
<p>小池委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに対する支援についていえば、行田市の場合は一定の条件で市内に家を建築・購入すると補助が受けられるが、このようなやり方は間違っていると思う。行田に来る人、住みたい人は、土地や建物以外にも色々比べるはずだから、行田の良いところをもっとPRし、行きたい、住みたい、と思わせることが先であって、住宅を建てたら金を出すということは本質から外れていると思う。 ・定住の後の段階として、例えば2人目、3人目の子どもに対して支援するなどといった面で、行田市が他市に比べて優れていることを具体的に示し、打ち出すべきである。
<p>島田ユミ子委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私が携わっているきつずプラザあおいは、市外からの来所が多い。行田市の子育て支援が魅力だという声があり、来客数の8割が市外の人という日もある。昨今の社会の中で、地道ではあるが、行田市は安全で、教育に熱心で、市として人づくりに総力をあげて取り組んでいるということを大きな声で伝えたい。 ・地域ぐるみの子育てに関わる人も増えている。お金のかからない人

川島座長	<p>的環境が充実している。周知のためのホームページももっと充実させてもらいたい。期待をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートやインタビュー調査でも、きつぷラザあおいがあつてよかつたという声は出ていた。パブリシティが大事である。もっと世間にアピールすべきだろう。 ・他になければ、議題（3）その他について、事務局にお願いする。
事務局	<p>（3）その他</p> <p>（資料6「人口ビジョン」「総合戦略」の策定スケジュール（案）により説明）</p>
川島座長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の日程について説明があつた。質問がなければ、本日の議事は以上となる。次回の会議では、人口ビジョン及び総合戦略を素案としてお示ししたいと考えている。以上をもって事務局へお返しする。
司会	<ul style="list-style-type: none"> ・以上をもって本日の予定は全て終了となる。第3回行田市まち・ひと・しごと創生有識者会議を閉会する。 <p style="text-align: center;">＜ 閉 会 ＞</p>